



須崎工高

お餅つき

細木公 69 主婦

（須崎市大間本町）

多ノ郷地区青少年を育てる会では、毎年この12月に恒例となっている「餅つき」を近くの公民館で行っています。

今年もよい天気恵まれ、子どもたちは待ちかねたようにお母さんや友だちと一緒にやってきました。

かわいいエプロンと三角巾をつけ、手もよく洗って「さあ、お餅つき」とやる気満々。

そんな中、若者手伝い隊がやって来ました。近くの山の上にある工業高校の生徒さんたちです。校長先生たちも一緒に応援に来てくれました。

おやまあ、今年は女子生徒さんたちも来てくれました。あんこやお餅を丸めた

りして会場が華やかになりました。男子生徒さんは上服を脱いできねを持ち、力強くお餅をついております。その音が気持ちよく響くようになった頃、園児や小学生とバトンタッチして後ろに回り、一緒にきねを持つてくれる姿のなんとほほ笑ましいこと。

小学2年生のしんちゃん、同じ名前の高校生がついた後、自分もきねを持ち、上手上手と声がかかる表情も晴れ晴れ。また、高校のお兄さんが餅つきをする姿を見ていた3年生の妹は、うれしそうに見つめていましたよ。お兄ちゃんかっこよかったね。

高校生のお兄さんお姉さん、来年も来てくださいます。子どもたちが待っています。おばちゃんも待っています。お手伝い本当にありがとうございました。

お餅つきで地域に貢献！

